

## 「研究大学強化促進事業」事後評価実施状況報告書等作成・記載要領

「研究大学強化促進事業」事後評価 分析資料、実施状況報告書、将来計画書及び「研究大学強化促進事業」における成果概要の作成にあたっては、以下の事項に留意し、必要な内容を記載してください。

### 【1】分析資料（様式1）

提供された各指標の結果を確認し、新型コロナウイルス感染拡大の影響により指標が悪化するなどの特殊事情があった場合は、その事象と指標に対する具体的な影響を備考欄に記載してください。

### 【2】実施状況報告書（様式2）及びロジックツリー（様式2（別紙））

#### ○全体について

- (1) 令和4年3月31日現在 で作成してください。
- (2) 本文等についてはMSゴシック、文字のサイズ10.5ポイント（図・表等に含まれる文字は除く、太字・アンダーライン・カラー等は適宜可）としてください。
- (3) 中間評価時の「将来構想」を基に、「令和3年度までの実績／進捗状況／変更点等」は適宜要約しつつ、全体で20頁以内となるように作成してください。
- (4) 「令和3年度までの実績／進捗状況／変更点等」欄には、本事業の実施上の課題等を踏まえ、本事業による成果・効果を定量的なデータの推移等を含めて記載してください。

#### ○項目について

- (1) 1. 及び「(参考) 中間評価時の進捗状況について」は、入力した形で提供します。
- (2) 2. については、左欄に「将来構想」の中間評価時の内容を転記し、右欄に「令和3年度までの実績／進捗状況／変更点等」を記載してください（1構想当たり最大2ページを目安として作成してください）。
- (3) 「令和3年度までの実績／進捗状況／変更点等」欄には、事業を実施する上で、総括責任者（機関の長）又は実施責任者（担当理事等）が、本事業全体の状況をどのように把握し、マネジメントにおいてリーダーシップを発揮しているのかについて記載してください。
- (4) 3. については、1～2以外に各機関の現況、理念に基づく特徴を活かした取組等について記載してください。
- (5) 4. については、参考資料1「URA等自主財源化計画〔記入要領〕」・・・のとおりに作成してください。
- (6) ロジックツリーについては、参考資料2「ロジックツリー〔記入要領〕」のとおりに作成してください。

### 【3】将来計画書（様式3）

#### ○全体について

- (1) 令和4年3月31日現在で作成してください。
- (2) 本文等についてはMSゴシック、文字のサイズ10.5ポイント（図・表等に  
含まれる文字は除く、太字・アンダーライン・カラー等は適宜可）としてください。
- (3) 原則として5頁以内で作成してください。

#### ○項目について

- (1) 1. については、機関の研究力向上に関する戦略や社会的要請を記載してください。
- (2) 2. については、これまでの本事業による活動の成果・自己分析を基に、今後5年間の成果目標・成果指標を含んだ将来計画を記載してください。

### 【4】成果概要

以下の項目について記載してください。

- ・ 目的
- ・ これまでの実績・取組状況
- ・ 今後5年間の将来計画

※概要は、公表することを前提とし、分かり易い表現で、簡潔に記載してください。

※文字のフォント、ポイント、行数（枠の高さを変更いただいて結構です）、文章量は自由です。

※図・表・写真等（カラー可）を使用し、分かりやすく表現してください。

※上記を踏まえたうえで概要は1枚に収めてください。また本概要はA4サイズで確認することを前提に作成してください。

なお事後評価のために対象機関から提出された資料や事後評価の結果については、文部科学省の今後の研究力強化に関する施策の検討等に活用させていただきます。その検討に当たっては、対象機関が参画する研究大学コンソーシアムに事後評価報告書等を共有するとともに、必要な分析等の協力を得ることとします。